

標準化専門委員会主催「第1回 国際標準化人材教育研修会」開催報告

電子部品部会／技術・標準戦略委員会／標準化専門委員会

開催日時：平成26年7月23日（水） 13時30分～17時

主催者名：電子部品部会／技術・標準戦略委員会／標準化専門委員会

担当部署：電子部品部

講師：黒川 利明 氏（デザイン思考教育研究所、画像電子学会理事、国際標準化教育研究会委員長、ICES Founder）

参加者数：約60名

近年、中国、韓国並びにインド等の国々が多くの若手を国際会議に派遣するなど国際標準化活動を年々強化してきている中、我が国ではこれまで日本の世界におけるリーダー的地位を支えてきた多くの先輩諸氏が引退してきており、国際標準化活動において次世代を担う若手人材の育成が急務となってきております。

このような国際環境の中、電子部品部会／技術・標準戦略委員会傘下で本年度発足した標準化専門委員会で

は、昨今急速に進む電子部品業界を取り巻くグローバル化・国際競争激化の中で、従来の受け身の国際標準化活動から攻めの国際標準化活動を推進し、戦略的にオープンとクローズを使い分けた標準化の知見を習得した国際的に活躍のできる人材の育成が急務であるとの位置付けから、「標準化教育」を2014年度以降の最重点活動テーマとして掲げ、鋭意取り組みを開始しております。



初年度である2014年度は、国際標準化に精通された黒川利明氏（デザイン思考教育研究所、画像電子学会理事、国際標準化教育研究会委員長、ICES Founder）を講師にお迎えし、上期、下期に計2回の研修会を計画、第1回目を7月23日に開催しました。講義には、標準化専門委員会及び、実装部品包装標準化専門委員会傘下のメンバを中心に約60名参加のもとでの開催になりました。

講義は前半と後半とに分け、前半は主に標準化に関する

全般的な内容を、後半は国際標準化活動の経験者による体験談や参加者全員によるケーススタディを対話方式で行いました。

前半の講義に関しては、初級、中級、上級と参加者の経験レベル差が大きかったこともあり、初級者にとっては難しく感じられた内容も多少あったようでしたが基本的内容の習得という意味では標準化についての新たな気づきと理解を深めていただけたものと考えています。

後半の経験者による体験談では、ベテランでも現在の

自分のように新人時代には委員会で飛び交う数々の規格番号や専門用語がよく理解できずに苦しんだという話をされたことで、特に初心者メンバにおいては自らの現時点の姿と照らし合わせ、共感とともに少々失われかけていた自信の回復と今後の取り組みに向けた原動力の回復に繋がったようでした。

また同じく後半に黒川先生が誘導され対話形式で進められた標準化に関する例題とケーススタディにおいては、新たに国際規格化する際に必要なエキスパートの人数集めや他国との仲間づくり、海外エキスパートとの意見調整が例題にあげられ、経験者の苦労話や実践的な体験談が紹介され、参加者全員が自由に参画できる雰囲気のもとで、積極的な意見交換を行うことができました。



次回の第2回（平成27年2月開催予定）に関しては、第1回のアンケート結果を十分に検討し、今回評判の良かったケーススタディや体験談等を取り入れるなどして、メンバのスキルアップに繋がる講習を黒川先生とともにブラッシュアップしていきたいと考えております。

今年は、11月に IEC 総会が東京で開催されます。日本での開催は、前回の京都総会以来、実に15年振りとなります。より多くの若手の標準化担当者に国際会議を経験していただける絶好の機会に恵まれました。今回の研修を国際会議に生かすとともに、国際会議に実際参加することで得られた知見について情報交換することで、更に活動を盛り上げていきたいと考えています。

【電子部品技術の集大成】～『2024年までの電子部品技術ロードマップ』～

最新の電子部品技術を分かりやすく解説した『2024年までの電子部品技術ロードマップ』（A4判 約350項）を2015年2月に発刊予定。発刊に合わせて東京、大阪で報告会を開催します。

◆東京開催

日時 2015年2月27日（金）10:00～16:30
場所 中央大学駿河台記念館 281号室

◆大阪開催

日時 2015年3月6日（金）10:00～16:30
場所 国民會館 武藤記念ホール